

もくじ

- P1 第1回青少年育成セミナー
(研修会及び意見・情報交換会)
- P2 いわての小中学生
「全国学力・学習状況調査」より
- P3 寄稿「思いやる心」
三浦義孝さん(小児科医)
- P4 お知らせ
いわて親子・家庭フォーラム
絵画ポスターコンクール作品募集
青少年育成地域活動支援事業案内
青少年を非行・被害から守る県民大会
青少年ボランティア養成講座

青少年 いわて

平成25年度『第1回青少年育成セミナー』を開催しました



にしのみちこ
西野 理子氏

プロフィール

東洋大学社会学部社会学科教授

研究分野: 家族社会学、
ライフコース論

所属学会: 日本社会学会、
日本家族社会学会、
比較家族史学会etc

著書:

『現代日本人の家族: NFRJからみた
その姿』(有斐閣, 2009年, 共編著)

5月28日、いわて県民情報交流センター8階会議室におきまして、青少年育成関係者のスキルアップと県内関係団体相互の情報交換により連携を強めることを目的に18団体が参加し、「青少年育成セミナー(研修会及び意見・情報交換会)」を行いました。

区分	内 容
講演	『現代社会における親と子・親にとって子どもとは何か』 東洋大学 社会学部社会学科教授 西野理子氏
全体会	①県民会議・青少年活動交流センター主要事業等の説明 ②平成24年度青少年の健全育成に関する意識調査の概要説明 ③質疑、情報、意見交換
分科会	①市町村民会議役職員対象 ア出席団体の事業実施計画について イ広報について ウ事業連携方策について ②青少年団体、育成団体等対象 ア出席団体の事業実施計画について イ事業連携方策について

講演では、西野理子教授(東洋大学)は、「今は親がなくとも子は育つ時代ではない。少子化や地域民との関わりの希薄さから、社会的子育て環境は変化している。孤立した親子関係・子育てを防ぐネットワークの構築が必要であり、子ども親も社会が支援していくことが必要です」と話しました。

全体会では、県民会議の平成25年度実施事業の説明や岩手県が行った青少年の健全育成に関する意識調査の概要が報告されました。

分科会では、市町村民会議と青少年団体・育成団体に分かれ、活動の様子や今後の計画等について情報交換が行われました。

児童生徒は土日の休みも忙しく地域の行事に参加しづらくなっている状況も報告され、その方策についての意見交換もされました。

また、震災被災地における復興支援活動の課題についても話し合われました。

(第2回は12月開催の予定です)

調査からみる『いわての青少年』

全国の小学6年生と中学3年生を対象に『全国学力・学習状況調査』が平成24年4月17日に一斉に行われ、集計・調査結果が同年9月に発表されました。この全国一斉調査は、『教科に対する調査、国語・算数(数学)・理科の3教科』と『生活習慣、学習環境に関する調査』の内容で行われ、岩手県は公立小・中学校合わせて189校が調査対象となりました。(小学生3,375人、中学生5,436人)

	区分	全国	岩手県
対象学校数	小学校	5,225校	107校
対象学校数	中学校	4,471校	82校
対象者数	小学校	約 26 万 2 千人	3,375人
対象者数	中学校	約 44 万 2 千人	5,436人

1.調査名と調査日

『平成24年度 全国・学習状況調査』
平成24年4月17日

2.調査実施者

文部科学省及び国立教育政策研究所

3.調査対象児童・生徒

全国の公立小学校6年生と中学校3年生

☆生活習慣に関する調査結果については次の通りでした。

1) 起床時間、就寝時間

小学生、中学生ともに規則正しく同じ時間に起床・就寝しており、起床時間では全国よりそ

れぞれ14.8%、13.9%高い数値となりました。また就寝時間も7.8%、13.3%高い数値となっています。朝は早めに規則正しく起き、夜も早めに床につく、基本的な生活習慣ができている子どもたちが多いということが分かりました。

2)睡眠時間

小学生では、8～9時間が38.6%と一番多く、全体の79.4%が8時間以上と回答しています。ところが中学生になると7～8時間が最も多く、8時間以上の睡眠をとれているのは全体の29.4%と大きく減少しています。

しかし双方ともに全国より4.4%高い数値となっています。(図1)

3) 朝食の摂取率

朝食を毎日食べている小学生は97.8%、中学生は96.5%と全国より若干高い数値となりました。(図2)

しかし、岩手の小学生のうち2.2%、中学生では3.5%は『まったく食べていない』『あまり食べていない』と答えています。

図2 小中学生の朝食摂取率

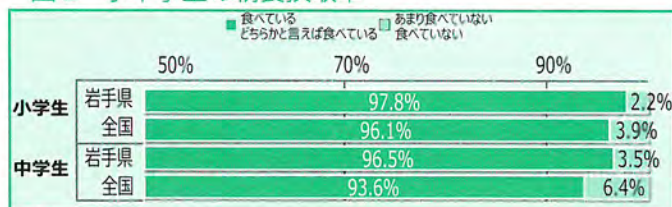
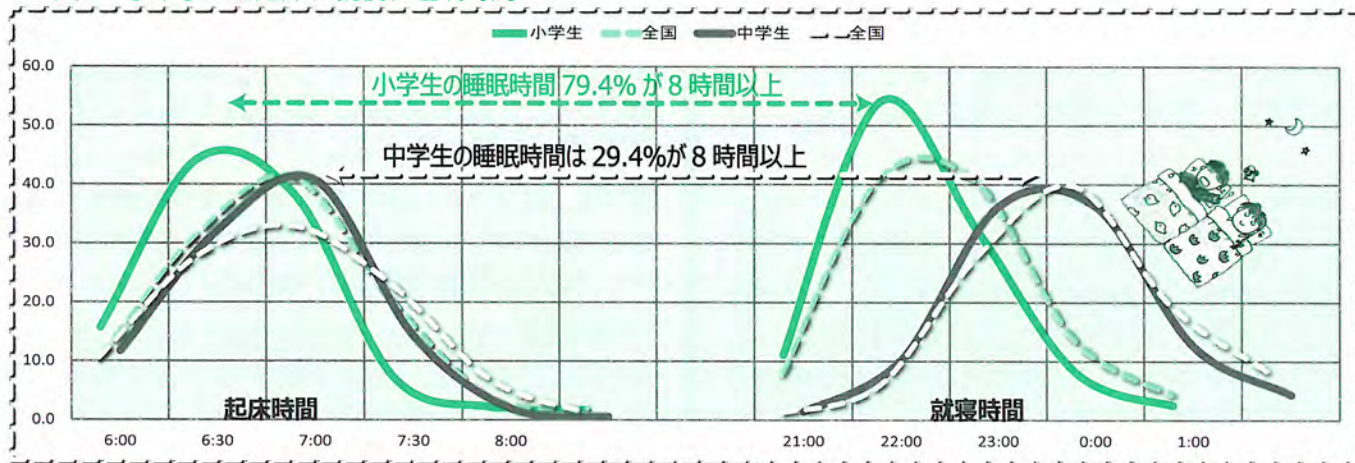


図1 小中学生の起床、就寝、睡眠時間



7月1日から8月31日は

『**青少年の非行・被害防止県民運動**』の強調月間です。

主唱：岩手県、岩手県教育委員会、岩手県警察本部、公益社団法人岩手県青少年育成県民会議

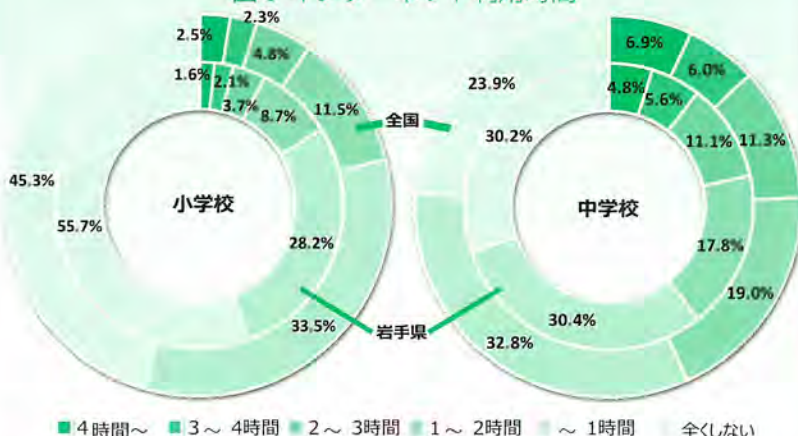
4) 家族の関係

普段(主に平日)、家族で夕食を一緒に食べているのは小学生で90.2%、中学生で86.5%となっていました。また、学校での出来事や日常的に会話をしているのは小学生で74.9%、中学生で68.2%で全国と同じ傾向であることが分かりました。

5) インターネットの利用

平日一日のインターネット利用時間(携帯電話も含む)では、『まったくしない』が小学生で55.7%で、中学生が30.2%で全国より利用されていないことが分かりました。また、携帯電話で通話やメールをしている小中学生は、所持率が低いこともあり小学生で16.0%、中学生で36.6%となっていました。(図3)

図3 インターネット利用時間



今回の調査で、岩手県の小中学生の『早寝・早起き・朝ごはん』等、生活習慣は全国と比較して良好であることが分かりました。インターネットや携帯電話の利用頻度も低いことが分かりました。

しかし、地域の大人と交流をもつ時間が全国数値より低いことなどから『いわての子どもたち』が、元気に健やかに成長できるよう県民の皆様のさらなる取組が必要です。

家庭の日とは 親子・家族の絆を深める日

岩手県青少年育成県民会議では、青少年を守り育てる運動として『いわて家庭の日』を主唱しています。

青少年が健やかに成長するには、家庭の力が欠かせません。
『いわて家庭の日』は家庭を大切に、実践する日です。

家族そろって食事しましょう
家の仕事を、みんなでしましょう
語り合い、教え合い、支え合いを大切にしましょう
家庭生活を充実させ、子育てを支援しましょう
早寝・早起き・朝ごはん

あなたも「地域のおじさん、おばさん」になって下さい。



情報発信中

(公社) 岩手県青少年育成県民会議

ホームページ: <http://www12.ocn.ne.jp/~ipayd/>

青少年活動交流センター

ホームページ: <http://www.aiina.jp/seishounen/index.html>



facebook: Ya-center Aiina



twitter: ya_center



「思いやる心」

三浦 義孝(みうら小児科)

「アメリカインディアンの教え」の一節に「豊かな思いやりのなかで安心して育つ子は、この世のすべてを信頼する人になる」とあります。思いやりの心は、遊びや野外活動といった直接体験を通して育まれます。今の子どもたちを取りまく環境は、自然が無く、時間が無く、仲間との集団遊びがありません。幼児期からテレビゲームに熱中していて、生きた生身の人間との付き合いが少なくなっています。



私は、昔ながらの「子ども社会」の最後の時代を過ごしたと思っています。町内の路地や空き地に集まって遊び、ガキ大将に統率され、いろいろな遊びに熱中しました。遊び道具は年長の子を見て自分で工夫しました。ベッタ、ベーゴマ、ビーダマ、S陣、宝島など、その場でルールを決めて遊びました。ときには危険な遊びもしましたが、親もこうした子どもの遊び仲間集団を信頼して、あまり干渉しませんでした。その集団の中で、自らのいたらない部分に気付いたり、相手を思いやる心、いたわる心、我慢をする心が知らず知らずのうちに身に付いていったように思います。

「一国の将来は、その国の子どもたちを見ればわかる」とも言われています。新聞紙上でも政治家をはじめ、教師、大人の恥ずべき反社会行為、社会を騒がせるような凶悪な事件が目につきます。時代がどう変化しようとも、人と人とのかかわり合いの中で変わってはいけないものがあります。それは健全なる倫理感であり道徳観です。子どもの問題は大人の責任です。大人が子どもに悪い影響を与えている現在の風潮を真剣になって改め、改善しない限りこれらの問題は解決しません。子どもたち以上に、私たち大人が問われています。家庭の雰囲気が良い心豊かな子の親は、心優しく思いやりに満ちています。子どもの心は親の心の鏡です。「子育て」は、毎日の生活の中で親がどんな姿を子どもに見せているかです。子どもは親の言う通りには育ちません。親のする通りに育つのです。いつの時代でも、人は人との関わりの中で生きていくのです。幼児期から、自然体験や社会体験を沢山させましょう。遊び仲間集団を復活させ、相手を思いやる心や忍耐力を養わせるよう努める必要があると思います。



(岩手県青少年育成県民会議理事)

いわて親子・家庭フォーラム

すべて
無料

みんな
きてね!

『つくってあそぼ』でおなじみの久保田雅人さんがやります!

7/15祝
もりおか
アイーナ会場

場所：いわて県民情報交流センター
4階県民プラザ・8階812研修室

『くぼたまさと工作ショウ』

10:30～11:10

『みんなで歌いましょう! 童謡ショウ!』

11:30～12:00

『高校生と日本文化に親しもう』

岩手女子高校茶道部、箏曲部、書道部

12:30～14:30

『くぼたまさと工作教室』

13:30～14:20

『くぼたまさとによるおとなのための研修会』

15:30～16:30

歌にみる子育ての
ヒントあり!

見る・聴くだけ
ではなく体験も!

野点形式で
おもてなし

場所：宮古市総合福祉センター
3階健やかホール
(宮古市小山田2丁目9-20)

『くぼたまさと工作ショウ』

10:00～10:40

『くぼたまさと工作教室』

11:10～12:00

『くぼたまさとによるおとなのための研修会』

14:00～15:00



宮古会場のお問い合わせは、
宮古市教育委員会事務局生涯学習課まで
電話 0193-68-9119

主催：岩手県、(公社)岩手県青少年育成県民会議、宮古市教育委員会(宮古会場)

協力：NPO法人いわて子育てネット、子育てサポートセンター、岩手女子高等学校

「いわて家庭の日」 絵画・ポスターコンクール



作品募集中です!



テーマ：

家族、親子、地域での思い出または、私の
夢や期待を表現したもので、『いわて家庭
の日』の周知、啓発するもの

応募資格：県内在住の小中高生

(県内の学校に在学している児童生徒)

募集締切：平成25年8月31日(土)

その他：画材は自由。切張りしていない物
で未発表に限る。

応募方法：在籍している学校に送付済の応
募票を作品に貼り付けてご応募下さい。

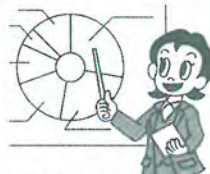
地域活動・団体活動を支援します!

～『青少年育成地域活動支援事業』のお知らせ～

岩手県内で青少年育成の地域活動、

団体活動を行っている団体、

グループを支援します。



企画・実施の支援…講習会や研修会等の講師謝金の一部を助
成します。また、講師の派遣や企画提案を行います。1件当
たり参加者10人以上5千円、今年度4件以内。

詳しくは、(公社)岩手県青少年育成県民会議のHPをご
覧ください。実施要綱、申請書等がダウンロードできます。

平成25年度『青少年を非行・被害から守る県民大会』

日時：平成25年7月17日(水)13:30～16:00

会場：盛岡市盛岡駅西通1-7-1

いわて県民情報交流センター(アイーナ)7階
アイーナホール

参加費：無料

内容：岩手県警察本部音楽隊によるアトラクション

意見発表・作文発表、講演

大会決議表明

講演「君の笑顔に会いたくて」

大沼 えり子氏

作家、保護司、シンガーソングライター、D.J.、割烹若女将。二児
の母。

1957年宮城県生まれ。大学在学中から東京、仙台を中心に
シンガーソングライター&D.J.、司会者として活躍。2001年に保
護司の委嘱を受ける。「D.J. Rosy」として北海道・東北地方に
ある3つの少年院に向けて院内放送「カントリーボーイ」を制作し
同録を贈り続けている。少年の自立を支援する認定NPO法人「
Rosy Bell (ロージーベル)」を設立、現在代表。

また、2011年3月の東日本大震災では宮城県名取市で被
災。復興活動支援にも取り組んでいる。



『青少年ボランティア養成講座』行いました。

これからボランティア活動を始めたいと考えている人、ボランティアって何?、何をすればいい
の?どうすれば…?

ボランティア活動を志す青少年向けの養成講座を6月30日(日)にアイーナ6階団体活動室3
で第1・2回を行いました。講座には、高校生が多く参加し『ボランティアとは…』をテーマに、
講話やディスカッションのワークショップを行いました。

実施期間：6月30日～10月6日

講座日程：基本講座…4回

実技講座…2回

受講料：無料(受講のための交通費等は自己負担)

参加対象：

県内の16歳(高校生を含む)以上概ね30歳まで

講座のこれからの予定

◎基礎講座

7/13 ワークショップ「企画・運営」

「救急法・ボランティア活動の安全」

◎実技講座

10/6開催の情報交流会の企画・運営

(9月は準備)



初心者のための
講座です

ボランティア
さんだらう??